

「行動医学研究」投稿規定（2023年12月19日現在）

1. 本誌は、行動医学に貢献する論文（総説、原著、症例報告、資料および短報）で、他誌に発表されていないものを掲載する。
2. 筆頭著者および代表著者は本学会員に限る。ただし、編集委員会からの依頼論文の場合は除く。
3. 論文の採否は、原則として独立した2名の専門家によって査読され、編集委員会が最終的に決定する。
4. 人を対象とする研究報告はヘルシンキ宣言（1964年採択、1975年修正、1983、1989、1996、2000、2002、2004、2008年改訂）の精神に則ったものでなくてはならない。
5. 実験動物を用いた研究報告は、各施設の動物実験指針に則って行われたものとする。
6. 本誌に掲載された論文等の著作権は日本行動医学会に帰属する。
7. 原稿の様式は次のとおりとする。
 - (1) 原稿は和文または英文とする。
 - (2) 原稿の表紙には表題、著者名、所属機関名、代表著者の通信先（以上和英両文）、原稿の種類、表および図の数を書く。
 - (3) 原稿は原則として Microsoft Word を用い A4 判用紙 30 字 × 25 行（750 字）横書きとする。短報以外の論文には、英文抄録（200 語以内）および和文要旨（A4 用紙 2 枚・1,500 字以内）を、短報には和文要旨（同、750 字以内）をつける。
 - (4) 英文原稿の場合も短報以外の論文には、英文抄録（200 語以内）および和文要旨（A4 用紙 2 枚・1,500 字以内）を、短報には和文要旨（同、750 字以内）をつける。
 - (5) 英文はすべて A4 判用紙にダブルスペースでタイプする。
 - (6) 原稿の各ページの左側に行番号を入れる。
 - (7) 短報以外の原稿枚数は図表を含めておよそ 20 枚以内、短報では 5 枚以内とする。
 - (8) キーワード（英語で 10 語以内）は、総説、原著、症例報告、資料では英文抄録のあとに、短報では表紙の英文タイトルのあとにつける。和訳を、和文要旨のあとにつける。
 - (9) 図、表は原則として英文とし、図の表題は別に A4 判用紙にダブルスペースでタイプする。また、本文中に図表が挿入されるべき位置を明示しておく。写真は、白黒では 1,200 dpi、グレースケールでは 300 dpi の解像度を必要とする。
 - (10) 引用文献は、引用順に番号をつけて最後に一括し、下記の記載例の形式で記す。本文中にも、「知られている¹⁾」または、「…^{2,3)}」…¹⁻⁵⁾」のように文献番号をつける。著者が 7 名以上の場合は最初の 3 名を記し、あとは「他」（英文では et al.）とする。和文学術誌は略号を用いず、英文学術誌は略号する場合、国際的な慣行に従って省略する。

【記載例】

〈学術雑誌〉著者名. 表題. 雑誌名 発行年（西暦）；巻：頁－頁.

1) 岡村尚昌, 津田 彰, 矢島潤平, 堀内 聡, 松石豊次郎. 睡眠時間は主観的健康感及び精神神経免疫学的反応と関連する. 行動医学研究 2009; 15: 33–40.

2) 田川隆介, 保坂 隆, 大須賀 等, 他. A 型行動パターンと虚血性心疾患—冠動脈所見における検討. 心身医学 1984; 24: 203–8.

3) Shimazu A, Schaufeli WB, Taris TW. How does workaholism affect worker health and performance? The mediating role of coping. Int J Behav Med 2010; 17: 154–60.

4) Nakata A, Takahashi M, Haratani T, et al. Association of active and passive smoking with sleep disturbances and short sleep duration among Japanese working population. Int J Behav Med 2008; 15: 81–91.

〈単行本〉著者名. 表題. 編者名. 書名. 発行所所在地：発行所, 発行年（西暦）：引用頁－頁.

5) 鈴木仁一. 循環器系. 樋口正元編. 情動のしくみと心身症—基礎から臨床まで. 東京：医歯薬出版, 1982: 59–63.

6) Kasl SV. Stress and disease in the workplace: a methodological commentary on the accumulated evidence. In: Cataldo MF, Coates TJ, eds. Health and industry: a behavioral medicine perspective. New York: John Wiley & Sons, 1986: 52–85.

上記の記載例は、Uniform Requirements of Manuscripts Submitted to Biomedical Journals (1993) に準じた。雑誌名の略記は、次の WEB サイトなどで確認すること。 <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>

8. 査読終了後、最終原稿提出時には表紙、本文、引用文献、図表ともにオリジナルファイル（MS-Word, Excel, PowerPoint 等）を添付する。
9. 著者校正は 1 回とする。
10. 原稿は、原則として電子メールにより投稿すること（2013 年 3 月より）。原稿は、すべての内容（表紙、本文、引用文献、図表を含む）を 1 つの PDF ファイルにまとめ、編集事務局宛に（jjbm2020edit@gmail.com）送付すること。

【投稿ならびに問合せ先】

〒 160-0011 東京都新宿区若葉 2-5-16 向井ビル 3F (株)ヒューマン・リサーチ内
日本行動医学会「行動医学研究」編集事務局宛
TEL 03-3358-4001 FAX 03-3358-4002

11. 投稿の際に著者全員は、日本行動医学会「医学研究の利益相反（COI）に関する指針」の細則で定める期間における発表内容に係る企業・組織や団体との潜在的利益相反（COI）状態の有無を、「日本行動医学会誌 自己申告による COI 報告書」（様式 2）に記載し、理事長に郵送ないし電子メール添付（PDF にスキャンした様式 2）で提出する。様式 2 は学会ホームページからダウンロードすることができる。

【自己申告による COI 報告書の提出先】

〒 160-0011 東京都新宿区若葉 2-5-16 向井ビル 3F
(株)ヒューマン・リサーチ内
日本行動医学会事務局宛
TEL 03-3358-4001 FAX 03-3358-4002
e-mail : jjbm2020edit@gmail.com